

碧南市名誉市民

故 平岩 慶一 氏をしのぶ



故 平岩 慶一 氏
(棚尾本町、享年102)

市葬のご案内

碧南市名誉市民の平岩慶一氏が、5月5日に逝去されました。
ここに生前のご厚情を感謝し、謹んでお知らせいたします。

つきましては、市葬を次のとおり執り行いますので、市民の皆様のご会葬をお願い申し上げます。

日時 7月19日(水) 午前10時
場所 碧南市文化会館ホール

服装は平服にてお越しくください。

なお、勝手ながら公葬ですので、御供花、御供物、御香典の儀は、固くご辞退申し上げます。万一、お届けいただきましても、お受けいたしかねますのであしからずご了承の程お願い申し上げます。

葬儀委員長 碧南市長 棚田政信

平岩 慶一 氏の功績

氏は、大正5年9月18日、碧海郡棚尾村に生まれ、昭和10年、現在の株式会社平岩鉄工所（文化5年・1808年創業）において家業に従事し、戦後の混乱期に軍需産業から平和産業への転換にご尽力されると共に、毛織用四幅織機の自動化に成功、同社毛織機の名声を樹立されました。

また、輸出の重要性を強く認識し、諸外国の調査研究を重ね、18か国への輸出を推進するとともに、国内市場のシェアは80%以上を占め、その高い技術力は、多くの特許や実用新案を取得し、毛織物業界並びに繊維機械業界に大きな影響を与えました。

昭和16年9月 従七位（軍功）
昭和17年8月 勲五等瑞宝章（軍功）
昭和52年3月 藍綬褒章
昭和61年11月 勲四等旭日小綬章
平成29年5月 従五位

繊維機械業界への功績

繊維機械業界は、円高等の深刻な危機に直面しましたが、昭和52年に（社）日本繊維機械協会副会長に就任後、政府などに対して不況対策を要望し、中小企業に対する臨時措置法の適用にご尽力されました。

また、昭和54年には、総理府貿易会議専門委員に委嘱され、政府の貿易政策に助言をするなど、日本の繊維機械の広域的な発展のためにご尽力されました。

愛知県および碧南市への功績

昭和32年に愛知県鉄工連合会の結成と同時に副会長（後に会長）に就任、鉄工業界の工作機械が戦災により壊滅されたなか、軍工廠保管の国有機械・工具の払下げ運動の先頭に立ち、愛知県における機械工業の基礎を築きあげ、本市においても碧南市鉄工会の設立会長として機械金属業の発展にご尽力されました。

また、昭和30年から碧南商工会議所会頭に3期9年間就任し、その間、衣浦港の重要港湾指定に向けた活動の先頭に立ち、指定を受けました。

その後、半田、刈谷、西尾各商工会議所とともに、衣浦港振興会を結成し、その中心的役割を果たされ、現在、本市の財政基盤となる産業の発展に貢献されました。

また、昭和34年に碧南ロータリークラブ初代会長に就任し、社会奉仕活動にご尽力されたほか、文化振興では、碧南芸術文化振興会の設立にご尽力され、文化資産の保存、市民が文化芸術に直接触れる機会の創出を目的とした藤井達吉現代美術館の開館を後押しするなど、各界、各方面において力を尽くされ、本市の発展に大きな功績を残されました。

問合せ 秘書情報課秘書係